

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年1月24日(2024.1.24)

【公開番号】特開2022-128055(P2022-128055A)

【公開日】令和4年9月1日(2022.9.1)

【年通号数】公開公報(特許)2022-161

【出願番号】特願2021-26367(P2021-26367)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/04(2006.01)

C 0 8 L 15/00(2006.01)

C 0 8 L 25/08(2006.01)

C 0 8 L 69/00(2006.01)

10

【F I】

C 0 8 J 9/04 1 0 1

C 0 8 J 9/04 C F D

C 0 8 L 15/00

C 0 8 L 25/08

C 0 8 L 69/00

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月15日(2024.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

また、本発明の発泡成形用熱可塑性樹脂組成物において、成分(C)の含有量は、成分(A)~(C)の合計100質量部中に40~90質量部であり、好ましくは45~85質量部、より好ましくは50~80質量部である。

30

成分(C)の含有量が40質量部未満では均一なセル径の発泡成形品を得ることが困難となり、90質量部を超えると得られる発泡成形品の外観が低下する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0115

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0115】

無機フィラー(F)を配合する場合、本発明の熱可塑性樹脂組成物中の無機フィラー(F)の含有量は、上記成分(A)~(C)の合計100質量部に対し、0.1~20質量部が好ましく、より好ましくは3~10質量部、さらに好ましくは5~10質量部である。このような割合で無機フィラー(F)を配合することにより、得られる発泡成形品の剛性、耐熱性及び寸法安定性を向上させることができる。

40